



夏休みが終わりました。

中体連の大会における運動系部活動、各種コンクールにおける文化系部活動が、ともにすばらしい活躍をしました。これまで出場できなかった上位の大会まで行くことができた部活動もあります。その結果を聞き、私もうれしくなりました。そして、それは上位の大会に出場できる練習をともに経験したという点で、後輩たちにとっても大きな財産です。全校のみなさんとその活躍を称えたいと思います。

一方、新型コロナウイルスの感染が爆発的に拡大し、今日は分散登校となり、期末テストは明日から学年ごとに実施です。そして10日まで分散登校となります。一、二年のみなさんが楽しみにしている野外総合活動は延期とし、一年生は1月下旬、二年生は11月下旬に変更することで調整しています。

コロナ感染の第5波では、10代のみなさんや20代の若者に感染が広がっています。改めて感染予防の大切さを自覚し、マスクを着用する、距離を確保する、手や指の消毒をする、教室の換気をする、これらを徹底してください。そして、感染した人、濃厚接触者となった人へのいたわりの心を忘れないようにしましょう。

この夏休みは、東京2020オリンピックが開催され、現在はパラリンピックが開催されています。みなさんも、テレビで出場選手を応援したことと思います。ここでは、私が心を動かされた事柄を一つだけお話しします。

それは、陸上男子400mリレーです。第一走者多田選手から、第二走者山縣選手へのバトンパスがうまくいかず、日本は失格となりました。スタートから10秒ちょっとの出来事です。桐生選手、小池選手は、決勝で走ることさえできませんでした。オリンピックの準備期間であった5年間、選手たちはきびしい練習を続け、ストイックに生活していたはずですが。その結果が失格です。四人は、どんな思いでトラックをあとにしたのでしょうか。選手たちの無念さは計り知れないものがあります。

けれども数日後、山縣選手は「パリをめざす。」と明言しました。私はこの言葉に感動を覚えました。山縣選手は29歳です。三年後は32歳。陸上選手としてのピークを過ぎているのではないかと思います。それでも挑戦するのです。大きな失敗をした、あるいは結果が出ない日々が続く、そういう経験は私たちにもあります。それでも、あきらめず努力し続ける生き方を見習いたいと思います。

さて、今日から授業再開です。これからの学校生活についてお話しします。

野外総合活動は延期しますが、後期の組織づくり、学習発表会、文化交流会は予定どおり実施の方向です。それは、みなさんに様々な経験をしてもらい、付けるべき力を、最も効果のある時期に身に付けてほしいと考えたからです。

そして生活の中で、みなさんには次の二つを意識してほしいと思います。

一つめは、自分たちの学級を分析的に見つめるということです。

それぞれの学級には、学級らしさができつつあります。よさも課題もあるはずですが、それは学級によってちがいます。学年がそろって同じ活動をするには必要です。けれども、自分たちの学級はここが課題だから、みんなで改善していこう。ここは自分たちの学級のよさだから、このことに心がけ、そのよさをさらに伸ばそう。そんな学級独自の分析を進めてほしいと思うのです。それが、文化交流会で発表する合唱の基盤になります。

二つめは、学習に取り組む態度を充実させ、考える力や学力を伸ばしてほしいということです。学校生活のほとんどは授業であり、授業の中では仲間づくりも行われます。11月初めには学習発表会があります。そして、三年生のみなさんは6か月後に入試があり、一・二年生のみなさんも1年後、2年後は同じ状況になります。

学習に取り組む態度は、一朝一夕にできるものではありません。考える力や学力も、日々の授業で繰り返し鍛えることによって、伸びていきます

むずかしいのは、その伸びが分かりにくいということです。小学校時代の水泳を思い出してください。泳ぎ始めた頃は25mを泳ぐことが目標だったと思います。きっとたくさん練習したはずですが、そしてある日、一気に25mが泳げたはずですが、毎日1mずつ泳げる距離が伸びたわけではなかったはずですが、人間の能力はそういう伸び方をするのです。

伸びない日々はつらいけれど、それを通過しないと、力は付かないのです。だから学習においても、あきらめず努力し続けることが必要です。

オリンピック選手やパラリンピック選手のインタビューには「感謝」という言葉が数多く出てきます。オリンピック選手たちは、多くの人に支えられているのだと分かります。

私たちも多くの人に支えられています。だから、感謝が必要です。一方、見方を変えれば、何かに取り組む時は、誰かに支えてもらえばよいのです。自分は自分のできる精一杯のことをやる。それでもできないことや、やっていく中で困ったことやつらいことがあったら、誰かに助けを求める。それでよいのです。頑張ってみてダメなら一旦立ち止まって、もう一度やり直せばよいのです。これは、日常生活にも学習にも共通することです。

授業が再開します。困難な日々が続きます。みなさんと先生方で力を合わせて、この困難を乗り越えていきましょう。